

GUARDIANWALL

全文検索システム

利用の手引き

- * GUARDIANSUITE は、キャノン IT ソリューションズ株式会社の登録商標です。
- * GUARDIANWALL は、キャノン IT ソリューションズ株式会社の登録商標です。
- * Sun, Sun Microsystems は、Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- * SunOS, Solaris は、Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。
- * SPARC は、SPARC International, Inc. の登録商標です。
- * Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。
- * Netscape, Netscape Navigator, N ロゴ及び操舵輪のロゴは、米国及びその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- * Microsoft, the Microsoft Internet Explorer ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- * Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
- * Microsoft Office, Microsoft Word, Microsoft Excel は、米国及びその他の国における米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
- * Microsoft PowerPoint は、米国及びその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- * Adobe, Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- * 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- * Sendmail は、米国 Sendmail, Inc. の登録商標です。
- * その他本マニュアル中に記載されている社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2011 Canon IT Solutions Inc.

本マニュアルの一部あるいは全部について、キャノン IT ソリューションズ株式会社の事前の承認なく、複製、転載することを禁止します。

<http://www.canon-its.co.jp/>

2010-Nov-12 GUARDIANWALL 全文検索システム V3.7

MEMO

はじめに

この度は、GUARDIANWALL 全文検索システムをご導入いただき誠にありがとうございます。本章では、本マニュアル『GUARDIANWALL 全文検索システム 利用の手引き』の使い方について説明します。

本マニュアルでは、GUARDIANWALL 全文検索システムを全文検索システムと略して表記する場合があります。また、本全文検索システムは、GUARDIANSUITE 管理サーバーにインストールされます。GUARDIANSUITE 管理サーバーのインストール方法につきましては製品に同梱しております『管理サーバー 導入の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～』をご覧ください。

また、本マニュアルでは全文検索システムに固有の諸作業について説明します。GUARDIANSUITE 管理サーバーに関する操作方法、設定方法については、『管理サーバー 利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～』もあわせてご覧ください。

(1) 本マニュアルの使い方

本マニュアルは、GUARDIANWALL 導入後に全文検索システムを使用するために必要な諸作業、全文検索システムの操作方法について説明します。本システムをご利用前に、必ず、本マニュアルをお読みください。以下に、各章の概要を説明します。

1 操作(情報管理者)(10ページ)

情報管理者が、ウェブブラウザを用いて本全文検索システムの設定・管理を行う方法について説明します。

2 操作(部門情報管理者)(28ページ)

部門情報管理者が、ウェブブラウザを用いて本全文検索システムの操作を行う方法について説明します。

3 操作(システム管理者)(30ページ)

システム管理者が、ウェブブラウザを用いて本全文検索システムの設定・管理を行う方法について説明します。

4 操作(利用者管理)(32ページ)

本全文検索システムを利用するユーザーに必要な権限の設定方法について説明します。

5 仕様(34ページ)

本システムの検索仕様、設定ファイル仕様について説明します。

(2) 表記ルールについて

本マニュアルで使用している表記ルールについて説明します。



書体について

画面やファイル中のテキストは枠で囲い、以下のような書体で記述します。

書体	意味	使用例
あいうABCabc123	画面上のコンピュータ出力	GUARDIANSUITE インストーラ Linux版
あいうABCabc123	ユーザーが入力する文字	# mv /usr/sbin/sendmail /usr/sbin/sendmail.OFF
あ いうABC abc 123	コマンド行の可変部分	# rm filename # rm <ファイル>
あいうABCabc123	ファイルやシステム中のテキスト	Top 5 合計メール数順 (total: 64)

マークについて

本システムを安全にご使用いただくため、守っていただきたい事項に次のマークを使用しています。必ずお読みください。

マーク	意味
	注意： システムの停止やデータの消去など、重大なトラブルを発生させる可能性があることを示しています。十分注意してください。
	情報： 操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

記号について

本マニュアルでは以下のような記号を使用しています。

記号	意味	使用例
『』	参照するマニュアル名を表します。 ※ただし、同じマニュアル内では省略します。	<ul style="list-style-type: none"> 『利用の手引き』の「1-1 機能」(22ページ)をご参照ください。 「新規インストール」を選択します。 MTA (Mail Transfer Agent)
「」	参照する章、節の番号と名称、または、システム内のメニュー、項目、値、強調する語等を表します。	
()	ページ番号、または、補足内容を表します。	
[]	システム中のボタン名、リンク名等を表します。	・ [設定] ボタンをクリックします。
[]	システム内のトップレベルメニュー、タブメニュー名を表します。	・ 「状況確認」 - 【稼動状況】
\	画面例などで、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	・ Enter your domain name \ [your.domain]: example.co.jp

設定例について

本マニュアルに記載されているIPアドレスやドメイン名、URLアドレスなどの設定例は、説明のためのものです。実際はそれぞれの環境に合わせた設定を行ってください。

MEMO

目次

1 操作(情報管理者)	10
1-1 ログイン画面	10
1-2 共通メニュー	11
1-2-1 基本設定	11
1-2-2 状況確認	13
1-2-3 拡張機能	16
1-3 メールメニュー	17
1-3-1 検索実行	17
1-3-2 検索履歴	25
2 操作(部門情報管理者)	28
2-1 ログイン画面	28
2-2 メールメニュー	29
2-2-1 検索実行	29
2-2-2 検索履歴	29
3 操作(システム管理者)	30
3-1 ログイン画面	30
3-2 共通メニュー	31
3-2-1 基本設定	31
3-2-2 状況確認	31
3-2-3 拡張機能	31
4 操作(利用者管理)	32
4-1 ログイン画面	32
4-2 利用者権限の設定	33

5 仕様	34
5-1 日本語検査仕様	34
5-2 アカウント設定ファイル	37
5-3 サーバー設定ファイル	38
5-4 インデックス作成コマンド	40
5-5 検索履歴削除コマンド	41

1 操作(情報管理者)

本章では、情報管理者の操作方法について説明します。

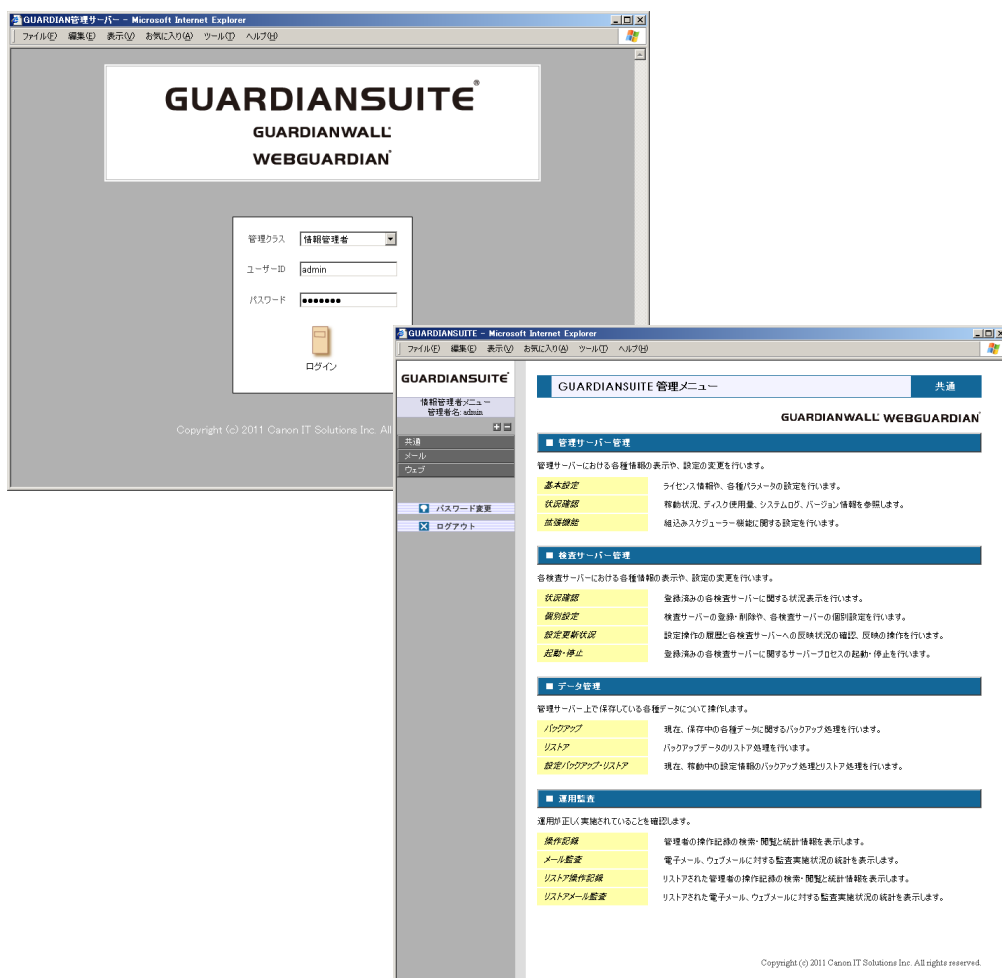
1-1 ログイン画面

管理用 URL をウェブブラウザのアドレス欄に入力してログイン画面にアクセスします。

例)http://192.168.0.1:8080/login/

ご使用のサーバーホストの IP アドレスを入力してください。

ログイン画面の管理クラスで「情報管理者」を選択、ユーザー ID とパスワードを入力し、[ログイン] アイコンをクリックしてログインします。ログインすると、情報管理者のトップページが表示されます。



1-2 共通メニュー

画面左部のメニューで、【共通】を選択するとその下に、メールとウェブ共通のメニューが表示されます。

全文検索システムを管理サーバーにインストールすると、「管理サーバー管理」以下のメニューに全文検索固有の設定項目が追加されます。

以下、全文検索システムに関係する管理について説明します。

1-2-1 基本設定

「管理サーバー管理」-「基本設定」のメニューを選択します。

画面上のタブメニューから【全文検索設定】を選択します。

各設定項目を変更し、画面下の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容が更新されます。[クリア]ボタンをクリックすると、設定内容が初期状態にクリアされます。

GUARDIAN SUITE - Microsoft Internet Explorer

ファイル 編集 表示 拡張子 表示 入力 ツール ヘルプ

GUARDIAN SUITE

情報管理メニュー
管理名: admin

共通

管理サーバー管理
基本設定
全文検索設定
検索履歴
検索結果制限値

基本設定

ライセンス 管理サーバーホストID ログ保存設定 監査機能 全文検索設定

■ 全文検索システムライセンス

サーバーホストID	83563b7a
ライセンスキー	YQAV-XL6G-HLUP-XGGA
ライセンス種類	ライセンス登録済

■ 全文検索インデックス構築作業ディレクトリ

/export/spare/index_work/

○ 十分な空き領域のあるディレクトリを指定してください。
○ インデックス構築時に一時的に使用する作業領域です。

■ 検索履歴

保存ディレクトリ /opt/Guardian/Admin/history/

最大保存件数 50 件/アカウント

○ 最大保存件数は「全文検索」検索履歴画面で表示される履歴の保存件数を指定します。

■ 検索結果制限値

最大全文検索結果数 1000 件

○ 全文検索結果が指定値を超えると検索処理を停止します。

クリア 設定

Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.

設定項目

全文検索システムライセンス

全文検索システムのライセンス登録を行います。

ここに表示されているサーバーホストIDを本システムの販売会社までお知らせください。折り返し、ライセンスキーをお送りしますので、ライセンスキー欄に入力してください。正しく登録されると、ライセンス種類欄に、評価版の場合は、「有効期限 YYYY/MM/DD」(YYYY/MM/DD は有効期限の年月日)、製品版の場合は、「ライセンス登録済」と表示されます。

全文検索インデックス構築作業ディレクトリ

全文検索インデックスを作成するために、一日分のメールデータを一時的に展開するディレクトリを指定します。初期値は未設定です。

一日分のメールデータの、およそ4倍の領域を必要としますので、メール流量にあわせて十分な空き領域のあるディレクトリを設定してください。複数台のGUARDIANWALL検査サーバーを管理している場合は、それぞれの検査サーバーで取得した一日分のメールデータのうち、最大サイズの4倍の領域を目安としてください。専用の領域のため、このディレクトリ以下にファイルやディレクトリを作成するといった他の用途への使用はしないでください。

検索履歴

保存ディレクトリは、全文検索を実行する各ユーザーの検索履歴が保存されるディレクトリです。初期値は「/opt/Guardian/Admin/history/」に設定されています。

最大保存件数は、ユーザーごとの検索履歴の保存件数です。

初期値は「50」件に設定されています。

履歴ファイルの容量の目安としては、検索処理1件につき平均1 MB程度使用します。

保存ディレクトリは専用の領域のため、このディレクトリ以下にファイルやディレクトリを作成するといった他の用途への使用はしないでください。

検索処理制限値

全文検索を実行した時に、検索対象の期間やキーワードによっては膨大な数のメールが該当する場合があります。その際に、検索結果数が最大全文検索検出メール数の指定値に達した時点で検索処理は停止します。初期値は「1000」件に設定されています。

1-2-2 状況確認

「管理サーバー管理」-「状況確認」画面の各タブメニューに、全文検索システムに関する情報が追加されます。

【稼働状況】

全文検索インデックス構築プロセス一覧の表示が追加されます。

スケジューラで設定された全文検索インデックス構築処理が稼働中であれば、そのプロセス状況が表示されます。

GUARDIAN SUITE - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

GUARDIAN SUITE

情報管理者メニュー
管理名: admin

共通

管理サーバー管理

設定設定

状況確認

検索サーバー管理

データ管理

運用監査

メール

ウェブ

パスワード変更

ログアウト

状況確認 共通

稼働状況 | ディスク使用量 | システムログ | データベースログ | パーformance情報

稼働状況

プロセス	PID	PPID	VSZ(KB)	RSS(KB)	PRI	NICE
httpd-DSSL	28037	1	11488	6832	59	20
httpd-DSSL	28057	28037	16064	9712	59	20
httpd-DSSL	28039	28037	14926	8664	59	20
httpd-DSSL	28042	28037	16064	9872	51	20
httpd-DSSL	28041	28037	16152	9856	59	20
httpd-DSSL	29922	28037	14720	8352	59	20
httpd-DSSL	28056	28037	16080	9808	59	20
httpd-DSSL	28055	28037	16616	10480	59	20
httpd-DSSL	28038	28037	16008	9880	59	20
httpd-DSSL	28040	28037	16184	9904	59	20
httpd-DSSL	29938	28037	14472	8128	59	20

○ PID: プロセスID, PPID: 親プロセスのプロセスID
○ VSZ: 使用しているプロセスの仮想サイズ, RSS: プロセスの物理メモリーサイズ
○ PRI: プロセスの優先順位, NICE: プロセスのスケジューリング優先順位

全文検索インデックス構築プロセス一覧

プロセス	PID	PPID	VSZ(KB)	RSS(KB)	PRI	NICE
現在実行中のインデックス構築処理はありません						

システム稼働状況(uptime)

午後 4時10分 稼働 323 日間 458, 7 users, 平均負荷率 0.04, 0.13, 0.09

Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.

【ディスク使用量】

「基本設定」 - 「全文検索設定」で指定した、全文検索インデックス構築作業ディレクトリの使用状況が追加されます。

GUARDIANSUITE - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

GUARDIANSUITE

情報管理メニュー
管理名: admin

共通

◆ 管理サーバー管理

基本設定

拡張機能

検索サーバー管理

データ管理

運用監査

メール

ウェブ

パスワード変更

ログアウト

状況確認 - 管理

稼働状況 ディスク使用量 システムログ データベースログ パージョン情報

■ ディスク使用量 (df)

Filesystem	1024-blocks	Used	Available	Capacity	Mounted on
/dev/dsk/c0t2d0a0	241599	95396	122044	44%	/
/dev/dsk/c0t2d0a6	4130983	2753521	1336152	66%	/var
/dev/dsk/c0t2d0a5	4130983	2904719	1184954	72%	/var
swap	2570392	168	2570224	1%	/var/run
/dev/dsk/c0t2d0a4	2035463	1063792	930008	54%	/opt
swap	2639152	68928	2570224	3%	/tmp
/dev/dsk/c0t2d0a7	25826376	7769759	17798354	31%	/export/ spare
/dev/dsk/c0t2d0a7	65677004	42997568	19343148	69%	/home/ yamada

■ システムログ保存ディレクトリ

ディレクトリ	/opt/Guardian/Admin/logs/
ディスクサイズ	2,055,463KB (ファイルシステムのサイズ)
ログ合計サイズ	541KB
ディスク空き量	990,009KB
ディスク使用量	54%

○ 空き量、使用量はシステムログ保存ディレクトリのあるファイルシステムの空き量、使用量です。

■ メールログ保存ディレクトリ

ディレクトリ	/export/ spare/Guardian/logs/mail
ディスクサイズ	25,826,376KB (ファイルシステムのサイズ)
ログ合計サイズ	6,902KB
ディスク空き量	17,798,354KB
ディスク使用量	31%

○ 空き量、使用量はメールログ保存ディレクトリのあるファイルシステムの空き量、使用量です。

■ メールアーカイブ保存ディレクトリ

ディレクトリ	/export/ spare/Guardian/arch			
現在の保存ディレクトリ	/export/ spare/Guardian/arch			
保存ディレクトリ	ディスクサイズ	アーカイブ合計サイズ	ディスク空き量	ディスク使用量
○ /export/ spare/Guardian/arch	25,826,376	48,171KB	17,798,354KB	31%

/export/ spare/Guardian/arch メール保存ディレクトリとリストアディレクトリは別のファイルシステムに設定してください。

○ 空き量、使用量はメールアーカイブ保存ディレクトリのあるファイルシステムの空き量、使用量です。
○ それぞれ、メール保存専用パーティションから構成されたディレクトリを指定してください。

■ ウェブログ保存ディレクトリ

ディレクトリ	/export/ spare/Guardian/logs/web
ディスクサイズ	25,826,376KB (ファイルシステムのサイズ)
ログ合計サイズ	258,475KB
ディスク空き量	17,798,354KB
ディスク使用量	31%

○ 空き量、使用量はウェブログ保存ディレクトリのあるファイルシステムの空き量、使用量です。

■ 監査データ保存ディレクトリ

ディレクトリ	/var/opt/Guardian/Admin/audit
ディスクサイズ	4,130,982KB (ファイルシステムのサイズ)
データ合計サイズ	2,048KB
ディスク空き量	3,917,219KB
ディスク使用量	5%

○ 空き量、使用量は監査データ保存ディレクトリのあるファイルシステムの空き量、使用量です。

■ 全文検索インデックス構築作業ディレクトリ

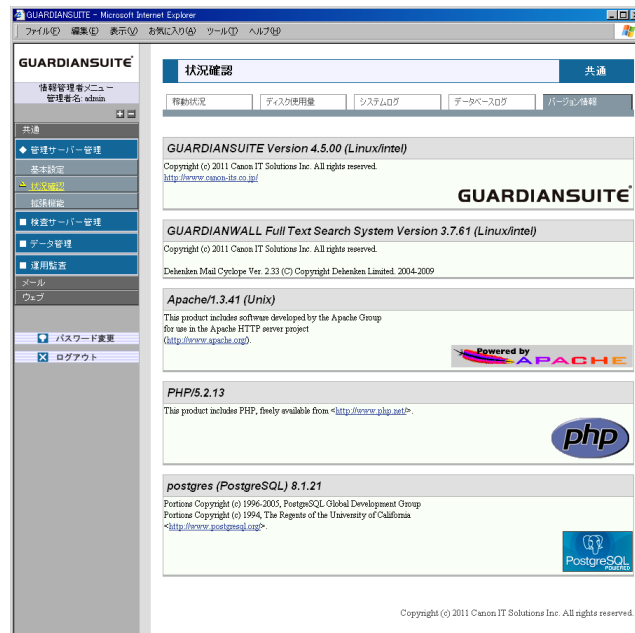
ディレクトリ	/export/ spare/index_work/
ディスクサイズ	25,826,376KB (ファイルシステムのサイズ)
ディスク空き量	17,798,354KB
ディスク使用量	31%

○ 空き量、使用量はインデックス構築作業ディレクトリのあるファイルシステムの空き量、使用量です。

Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.

【バージョン情報】

全文検索システムのバージョン情報表示が追加されます。



全文検索システムにパッチを適用している場合、パッチ ID を確認できます。

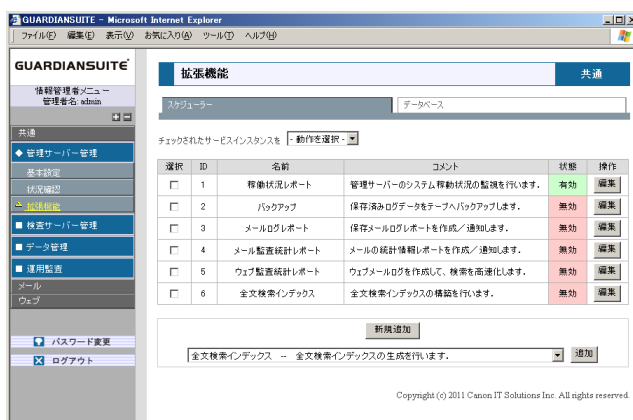


適用済みパッチ ID は /opt/Guardian/backup 以下のファイルを参照して表示されます。

/opt/Guardian/backup 以下のファイルは変更、削除をしないでください。

1-2-3 拡張機能

全文検索システムが導入されている管理サーバーでは、「全文検索インデックス」というスケジューラーが追加されます。



この機能を設定すると、全文検索に必要なインデックスが自動生成されます。インデックスが作成されない、全文検索を実行することができませんのでご注意ください。



スケジューラーでは、保存されている全てのメールアーカイブに対して全文検索インデックスの作成を行います。全文検索システムを追加導入した場合には、初回実行時に対象となるメールアーカイブが多数存在するために、インデックス作成処理には非常に時間がかかる場合があります。その際に、他のスケジューラーの実行が指定時刻に動作しなくなる場合もありますのでご注意ください。

サーバー設定ファイルを編集することで、指定した年月日以前の全文検索インデックス作成を抑制することができます。全文検索システムを追加でインストール時に、すでにメールアーカイブが多数格納されている場合には、全文検索システムを導入した年月日以前の全文検索インデックス作成は抑制しておくことを推奨します。サーバー設定ファイルの記述方法については、「5-3 サーバー設定ファイル」(38 ページ)をご参照ください。

また、インデックス作成コマンドを実行することで、スケジューラーによらないインデックス作成が可能です。インデックス作成コマンドについては、「5-4 インデックス作成コマンド」(40 ページ)をご参照ください。

1-3 メールメニュー

画面左部のメニューで、「メール」を選択するとその下に、メールメニューが表示されます。

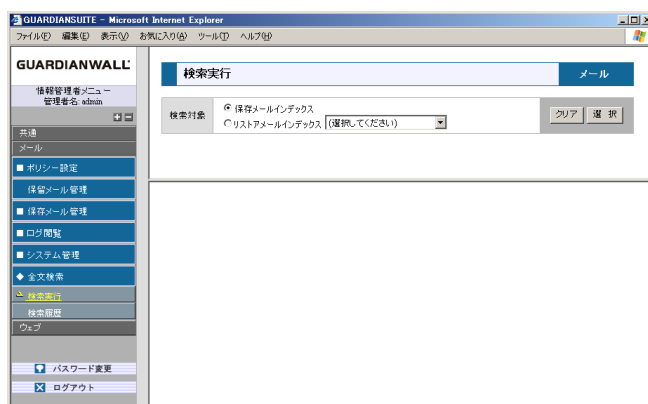
全文検索システムが導入されていると、メールメニュー下部に「全文検索」というメニュー項目が追加されます。

1-3-1 検索実行

メール本文内容から作成されたインデックスに対して、任意のキーワードで検索を行います。

検索対象のインデックスが格納されている場所を指定した後、検索条件として期間、メール発信者アドレス、受信者・同報者アドレス、キーワードを指定することができます。

検索条件を設定し、[表示] ボタンをクリックすると、画面下部に検索結果を表示します。[クリア] ボタンをクリックすると、入力した条件を全て初期状態にクリアします。



指定項目

検索対象

検索対象にしたいインデックスが格納されている領域を指定、選択します。

検索対象	<input checked="" type="radio"/> 保存メールインデックス <input type="radio"/> リストアメールインデックス (選択してください)	<input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="選択"/>
------	--	--

- 保存メールインデックス** : メール保存ディレクトリに保存されているメールに対して作成されたインデックスを検索対象にします。
- リストアメールインデックス** : 指定したディレクトリにリストアされたメールに対して作成されたインデックスを検索対象にします。

本全文検索システム上にリストアディレクトリを設定していない場合や、利用アカウントにリストアデータ検索権限がない場合は、検索対象選択が省略され検索条件入力画面が最初に表示されます。

保存メールインデックス、もしくは、リストアメールインデックスと対象ディレクトリを選択し、[選択] ボタンをクリックすると検索条件の入力画面に切り替わります。

期間

検索する期間を、「任意期間」「月間」「年間」から選択します。検索可能なインデックスが格納されている年月がリストアップされていますので、任意期間の場合は検索する開始年月日と終了年月日、月間の場合は検索する年月、年間の場合は検索する年を選択してください。

「時間範囲」では検索する開始時刻と終了時刻を1時間単位で選択してください。

なお、日の指定は開始日～終了日で両端の日付を含んだものを検索しますが、時間は指定した終了時刻の時間を含みません(1時間ごとにずらして検索する際に重複させないため)。たとえば、「8時～12時」の場合、8時00分から11時59分のものが対象となります。「18時～9時」のように指定すると、18時00分から23時59分及び0時00分から8時59分が検索対象となります。

発信者アドレス

特定の発信者のメールだけを検索する時に、検索したいメールアドレスを指定します。条件の指定方法として、検索条件文字列を指定するアドレス指定部とあらかじめ登録されたグループから検索条件を選択するグループ指定部があります。

アドレス指定部 グループ指定部

発信者アドレス	<input type="text"/>	--
受信者・同報者アドレス	<input type="text"/>	--
検索条件: すべて満たす		開発部 営業部 人事部

アドレス指定部表記	条件検査対象アドレス	備考
文字列	ヘッダーのアドレス部	完全一致、英大小文字同一視 ワイルドカード使用可
=文字列	ヘッダーのアドレス部	完全一致、英大小文字同一視 ワイルドカード使用可
H=文字列	ヘッダーのアドレス部	完全一致、英大小文字同一視 ワイルドカード使用可
E=文字列	エンベロープアドレス	完全一致、英大小文字同一視 ワイルドカード使用可
B=文字列	ヘッダーのアドレス部と エンベロープアドレス	完全一致、英大小文字同一視 ワイルドカード使用可

アドレス指定部には検索したいメールアドレスを指定します。指定文字列をメールの From:ヘッダー（発信者）のメールアドレス部に含む（部分一致、英大小文字は区別しない）メールを一覧表示します。

アドレス指定部に検索条件を指定する場合、グループ指定部は指定しないことを意味する「--」を選択してください。

メールアドレス部分に対して、（長さ0以上の任意の文字列に一致する）ワイルドカード文字を含めた検索や、エンベロープアドレスに対する検索を行う場合は、下表のように「H=（もしくは=）」「E=」「B=」を先行させて文字列を指定してください。

参考 各記号の意味はそれぞれ、H（Header）、E（Envelope）、B（Both）です。

例）検索条件の指定

- ・メールアドレス部分だけで検索する場合は、以下のように指定します。
 H=yamada@example.com（もしくは「=yamada@example.com」）
 E=tanaka@example.com
- ・特定のドメインのアドレスだけ検索する場合は、以下のように指定します。
 H=*@example.com

発信者グループ指定

あらかじめ、複数のメールアドレスをグループとして登録しておく、グループに属するアドレスをメールのFrom:ヘッダー（発信者）に含むメールを一覧表示します。グループの登録方法については『管理サーバー 利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～』の「3-3-1-5 グループ」（153ページ）をご参照ください。グループ指定部に表示されるグループ名のリストはアカウントごとに変更できます。設定方法については『管理サーバー 利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～』の「6-2-1-4 情報管理者の権限リスト」（356ページ）をご参照ください。

アドレス指定部表記	条件検査対象アドレス
H=	ヘッダーのアドレス部
E=	エンベロープアドレス
B=	ヘッダーのアドレス部とエンベロープアドレス

アドレス指定部にグループを指定（「- -」以外を選択）した場合は、アドレス指定部の検索条件は無視され、グループ指定部の条件だけが有効になります。ただし、エンベロープアドレスに対してグループ条件検索を行う場合は、アドレス指定部に「E=」、ヘッダー、エンベロープ両方のアドレスに対して検索を行う場合は、アドレス指定部に「B=」を指定してください。

受信者・同報者アドレス

特定の受信者・同報者を含むメールだけを検索する時に、検索したいメールアドレスを指定します。条件の指定方法は発信者アドレスの場合と同じです。指定文字列をメールのTo:, Cc:ヘッダー（受信者・同報者）に含む（部分一致、英大文字は区別しない）メールを一覧表示します。発信者アドレスの場合と同様に、「H=」「E=」「B=」を先行させてアドレス検索条件（ワイルドカードを含めてもよい）を指定することができます。

アドレス指定部には、複数のアドレスを指定することが可能です。半角の空白で区切って複数のアドレスを指定すると、その全てのアドレスが宛先に含まれるメールを一覧表示します。

グループ指定部の使用方法も発信者アドレスの場合と同様です。To:, Cc:ヘッダーに指定されている複数のアドレスの中にある1つ以上のアドレスのメールアドレス部が選択したグループに含まれるメールだけを検索します。

検索条件

発信者アドレス、受信者・同報者アドレスに指定した検索条件の「すべてを満たす」メールを検索するのか、「いずれかを満たす」メールを検索するのかを指定します（検索条件を両方指定した場合だけ有効です）。

キーワード

指定したキーワードが含まれるメールを検索します。半角の空白で区切ることで、複数のキーワードを指定することができます。この場合、指定したキーワードが全て含まれるメールが検索されます。

フィールド指定記号と「:」をキーワードに先行することで、検索対象フィールドを指定することが可能です。

キーワード表記	検索対象
S:キーワード	Subject:ヘッダー (メール標題)
T:キーワード	To:ヘッダー (受信者)
F:キーワード	From:ヘッダー (発信者)
C:キーワード	Cc:ヘッダー (同報者)
f:キーワード	MAIL FROM:エンベロープアドレス
t:キーワード	RCPT TO:エンベロープアドレス
O:キーワード	上記以外のヘッダー
B:キーワード	メール本文
A:キーワード	添付ファイルに含まれるテキスト
N:キーワード	添付ファイル名
X:キーワード	上記全て

※T, F, C:フィールド指定において、検索対象にはコメント部も含まれます。

※フィールド指定をしなかった場合はX:と等価です。

キーワード欄の先頭に「\$」を記述すると、「()」「&」「|」を用いた論理式を記述できます。「\$」の直後及び上記論理記号とキーワードの間は必ず半角の空白で区切ってください。

表示形式

検索結果を、バックグラウンドで検索するか (結果表示しない) 全て一度に表示するか、指定した件数ずつ表示するかを指定します。

検索結果を指定件数ずつ表示する場合は最初に表示するページを指定できます。

一覧表示にエンベロープアドレスの表示を含めたい場合は、「エンベロープアドレスを表示する」のチェックをONにしてください (検索結果画面でもボタンで表示 / 非表示の切り替えができます)。

ブラウザーでCookieが使用可能な設定であれば、これらの指定値はCookieに保存されるので、次回検索時も前回設定値が指定された状態で表示されます。

検索終了通知

検索終了時にメールで通知を行う場合は、「検索終了通知メールを送信する」のチェックをONにしてください。通知を行う場合は必ず送信先のメールアドレスを指定してください。検索時間を指定することで、検索処理時間が指定した以上かかった場合にのみ通知メールを送信します。「0」を指定すると常に通知メールを送信します。ブラウザでCookie が使用可能な設定であれば、これらの指定値はCookie に保存されるので、次回検索時も前回設定値が指定された状態で表示されます

検索結果

検索実行画面の[検索] ボタンをクリックすると、指定した条件に一致するメールを画面下部に一覧表示します。

「バックグラウンド検索」を指定した場合には検索結果は表示されません。検索履歴画面から、該当するJOBIDの検索結果を確認してください。

The screenshot shows the GUARDIANWALL search interface in a Microsoft Internet Explorer browser window. The interface is divided into a left sidebar with navigation links and a main content area for search execution and results.

Search Execution Section:

- 検索対象:** ☒ 保存メールインデックス ☐ リストアメールインデックス (選択してください)
- 期間:**
 - ☒ 任意期間: 2007年06月 18日 (月) ~ 2007年06月 20日 (水)
 - ☐ 月間: 2007年06月
 - ☐ 年間: 2007年 ※ 件数が多いとタイムアウトする場合があります。
 - 時間範囲:** 00時 ~ 24時
 - 有効期間:** 2007年05月25日 ~ 2007年08月02日
- 送信者アドレス:** [検索]
- 受信者・同報者アドレス:** [検索]
- 検索条件:** すべて満たす
- サイズ:** [検索] Byte [以上]
- キーワード:** 社外秘
- 表示形式:**
 - ☒ バックグラウンド検索(結果表示なし)
 - ☐ 全てのメールを表示
 - ☐ 20件ずつ表示
 - 初期表示ページ: ☒ 先頭 ☐ 最終 ☐ 指定ページ 1
 - ☐ エンベロープアドレスを表示する
- 検索終了の通知:**
 - ☐ 検索終了の通知メールを送信する (検索時間が 3 分以上の場合)
 - 送信先メールアドレス: [検索]

Search Results Section:

全文検索結果 2007年06月18日 ~ 2007年06月20日

検索対象: 保存メールインデックス
キーワード: 社外秘

エンベロープ表示 [ダウンロード](#)

[1 ~ 2件 / 全2件] ページ: 1

年月日 時刻	送信者 受信者 同報者	サイズ
2007/06/18 13:43:06	Taro Yamada <yamada@example.co.jp> 明日の件確認 Jiro Tanaka <tanaka@example.co.jp>	664B
2007/06/20 10:32:30	田中 次郎 <tanaka@example.co.jp> Re: 明日の件確認 Taro Yamada <yamada@example.co.jp>	677B

[1 ~ 2件 / 全2件] ページ: 1

Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.

検索結果には、以下の情報が表示されます。

- ・ GUARDIANWALL が電子メールを保存した時刻 (年月日、時刻)
- ・ 電子メールのサイズ (バイト数)
- ・ 電子メールの発信者 (From:)
- ・ 電子メールの標題 (Subject:)
- ・ 電子メールの受信者 (To:)
- ・ 電子メールの同報者 (CC:)
- ・ エンベロープ FROM アドレス エンベロープアドレスを表示する場合
- ・ エンベロープ TO アドレス エンベロープアドレスを表示する場合

エンベロープ表示 / 非表示

エンベロープアドレスの表示、非表示をボタンで切り替えます。

検索結果のダウンロード

検索結果画面上部の[ダウンロード]リンクをクリックすると、ファイル保存先選択ダイアログボックスが表示されるので、保存場所を指定してください。ファイルは CSV 形式で、文字コードは MS 漢字コード (Shift_JIS) です。

メールの内容閲覧

情報管理者の保存メール閲覧権限の設定を変更して閲覧権限を設定すれば、保存メールの内容を閲覧することができます。表示されているリストの、発信者、メール標題部分のリンクをクリックするとメール内容を表示します。検索対象ディスク上にメールアーカイブファイルが残っていれば本文内容を閲覧することができます。

検索実行中画面

検索条件の「表示形式」で「すべてのメールを表示」または「n件ずつ表示」を指定し、かつ検索実行処理が終了していない時は、検索実行中の画面が表示されます。表示内容は検索結果画面と同じで、メールの内容閲覧のリンク (権限がある場合のみ) も有効ですが、[エンベロープ表示 / 非表示] ボタンと[ダウンロード]リンクは表示されません。

[再表示] ボタンをクリックすると、現在の検索結果が再表示されます。また、[検索中断] ボタンをクリックすると、検索が中断されます。

検索を中断した場合には、中断した時点で検出済の結果が検索履歴に保存されます。

検索完了通知メール

検索条件の「検索終了通知」で「検索終了通知メールを送信する」を指定した場合、以下の内容のメールが指定されたアドレスに送信されます。

例)

From: root@dsn.example.com

To: admin@example.com

Subject: GUARDIANWALL: メール全文検索 検索処理終了通知

全文検索処理が正常終了しました。 エラーによる終了なら「異常終了」、
JOBID: \$JOBID 中断による終了なら「中断」となる

検索開始時刻: 2007 年 08 月 29 日 14:42:25

検索終了時刻: 2007 年 08 月 29 日 14:42:25

検索対象: 保存メールインデックス

検索対象期間: 2007 年 06 月 18 日 ~ 2007 年 06 月 20 日

キーワード: 社外秘

アドレス条件やサイズ条件がある場合はそれらも
記述される

該当メール件数: 2 件

検索履歴画面から結果を確認してください。 メール件数が 0 の場合は出力されない

1-3-2 検索履歴

過去に実行した検索条件と検索結果を表示します。

初期状態の設定では、検索履歴は利用者ごとに検索実行日が新しいものを最大50件まで保存します。

自アカウントで検索を行った検索履歴だけを表示します。他の利用者が実行した検索履歴を見ることはできません。



優先除外対象グループや管理対象グループの設定を変更しても、検索履歴に保存されている検索結果に対しては影響しません。現在閲覧が禁止されているメールに対しても、一覧やメール本文の閲覧が可能となります。閲覧権限の変更に伴い検索履歴の閲覧を禁止する場合には、検索履歴の削除を行ってください。検索履歴の削除については、「5-5 検索履歴削除コマンド (41ページ)」をご参照ください。



表示内容

検索履歴照会画面には、以下の情報が表示されます。

- ・JOBID: 検索処理を実行した時に割り当てられた ID
- ・検索キーワード
- ・検索処理を開始した日時
- ・状態 (検索中 / 完了 / 異常終了 / 中断)
- ・メール件数

検索実行中の場合は、メール件数の欄には「???'と表記されます。

検索条件/ステータス

検索履歴照会画面の各JOBIDのリンクをクリックすると、画面下部に検索条件を表示します。

検索履歴

アカウント admin の全文検索履歴です。
2件の履歴があります。

NO	JOBID	キーワード	検索開始日時	状態	メール件数
1	FTS00001-46D50706	契約	2007/08/29 14:41:26	完了	7
2	FTS00002-46D50741	社外秘	2007/08/29 14:42:25	完了	2

ページ: [1]

表示設定: ☐ すべての履歴を表示 ☒ 20件ずつ表示 初期表示ページ: ☒ 先頭 ☐ 最終

表示順: ☐ 新しい検索履歴順 ☒ 古い検索履歴順

クリア 設定

検索条件/ステータス FTS00002-46D50741

■ 期間/検索条件

対象ディスク	/var/tmp/restore/
期間	2007年08月18日 ~ 2007年08月29日
宛先者アドレス	(指定無し)
受信者/同報者アドレス	(指定無し)

■ キーワード

社外秘

■ ステータス

検索開始時刻	2007年08月29日 14:42:25
検索終了時刻	2007年08月29日 14:42:26
状態	完了
検出メール数	2

2/17

Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.

検索条件/ステータスには、以下の情報が表示されます。

- ・ 期間 : 検索実行時に指定した対象期間
- ・ 検索条件 : 検索実行時に指定した検索条件
- ・ 対象ディスク (リストアディレクトリを検索対象に選択した場合)
- ・ キーワード : 検索実行時に入力したキーワード
- ・ 検索開始時刻
- ・ 検索終了時刻 : 検索中は表示されません。
- ・ 状態 : 検索中の場合、[検索中断] ボタンも表示されます。
- ・ 検出メール数 : 検索条件に一致したメール件数
検索中の場合は、「??」と表記されます。

[検索中断] ボタンをクリックすると検索を中断します。

検出メール数のリンクをクリックすると検索条件画面が検索結果画面に切り替わります。検索中の場合は、検索結果画面へのリンクは表示されません。

全文検索システム Ver3.7 より古いバージョンでの検索履歴については、検索終了時刻の表示はありません。

また、古いバージョンでは検索結果を保存していないため、検索結果を確認することはできません。

検索結果

検索履歴照会画面のメール件数のリンクをクリックすると、画面下部に検索結果を表示します。

GUARDIANWALL - Microsoft Internet Explorer

検索履歴

アガフロント admin の全文検索履歴です。
2件の履歴があります。

NO	JOBID	キーワード	検索開始日時	状態	メール件数
1	ETS000001-46D60706	契約	2007/06/29 14:41:26	完了	1
2	ETS000002-46D60741	社外秘	2007/06/29 14:42:25	完了	2

ページ: [1]

表示設定: ☐ すべての履歴を表示 ☒ 20件ずつ表示 初期表示ページ: ☒ 先頭 ☐ 最終

表示順: ☐ 新しい検索履歴順 ☒ 古い検索履歴順

全文検索結果 2007年06月18日～2007年06月20日

検索対象: 保存メールインデックス
キーワード: 社外秘

エンベロープ表示

ダウンロード
ページ: [1]

年月日 時刻	送信者 宛先 関係者	サイズ
2007/06/18 13:43:06	Taro Yamada <yamada@example.co.jp> 明日の件確認 Jiro Tanaka <tanaka@example.co.jp> -	664B
2007/06/20 10:32:30	田中 次郎 <tanaka@example.co.jp> Re: 明日の件確認 Taro Yamada <yamada@example.co.jp> -	677B

【1～2件/全2件】

ページ: [1]

Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.

表示される検査結果の内容は検索実行時に表示される内容と同じです。

2 操作(部門情報管理者)

本章では、部門情報管理者の操作方法について説明します。

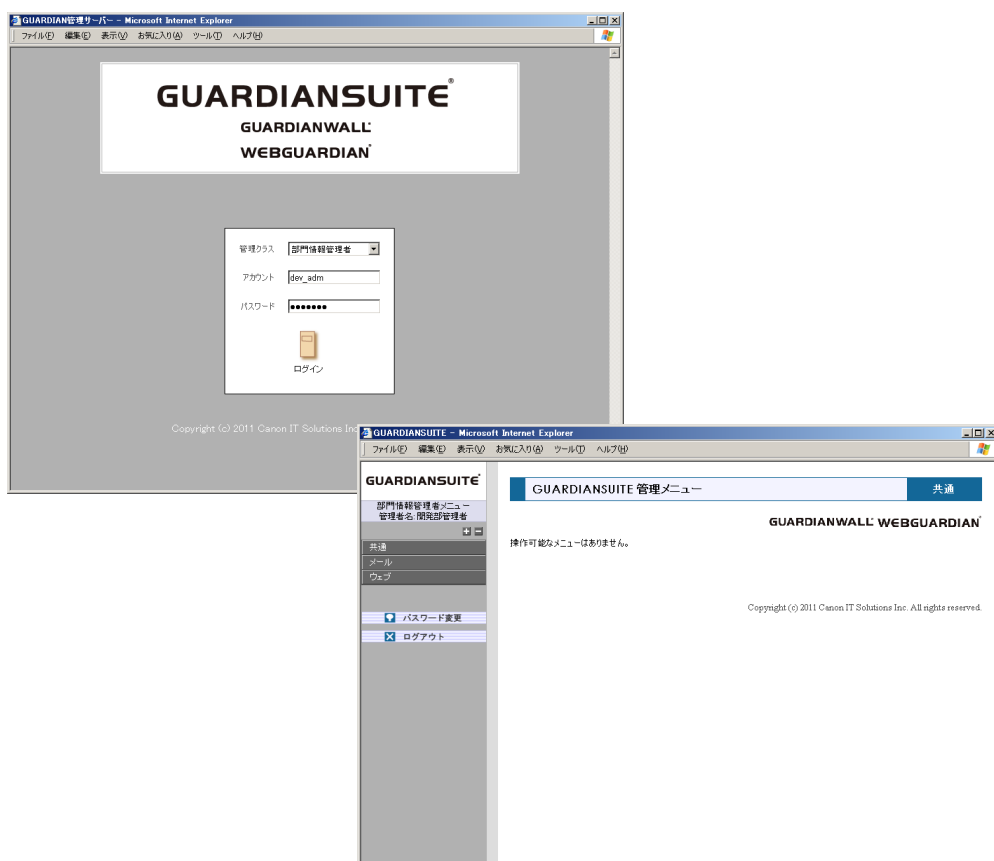
2-1 ログイン画面

管理用 URL をウェブブラウザのアドレス欄に入力してログイン画面にアクセスします。

例) `http://192.168.0.1:8080/login/`

ご使用のサーバーホストの IP アドレスを入力してください。

ログイン画面の管理クラスで「部門情報管理者」を選択、ユーザー ID とパスワードを入力し、[ログイン] アイコンをクリックしてログインします。ログインすると、部門情報管理者のトップページが表示されます。



2-2 メールメニュー

画面左部のメニューで、「メール」を選択するとその下に、メールメニューが表示されます。

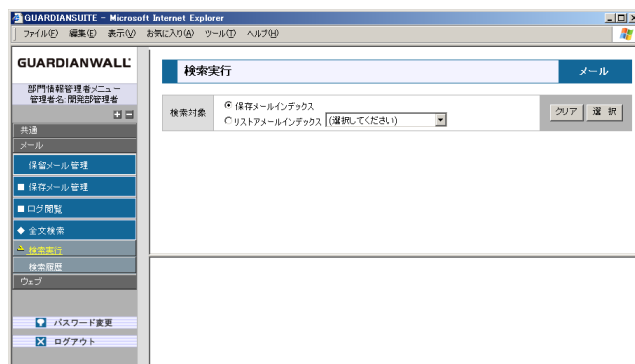
全文検索システムが導入されていると、メールメニュー下部に「全文検索」というメニュー項目が追加されます。

部門情報管理者のデフォルトの設定では、全文検索を実行する権限はありません。権限を変更するには、「4-2 利用者権限の設定」(33 ページ) をご参照ください。

2-2-1 検索実行

指定した期間中で条件に一致する保存メールを検索することができます。

操作方法は情報管理者のものと同じです。詳細については、「1-3-1 検索実行」(17 ページ) をご参照ください。



2-2-2 検索履歴

アカウントごとの、過去に実行した検索条件を表示します。

操作方法は情報管理者のものと同じです。詳細については、「1-3-2 検索履歴」(25 ページ) をご参照ください。

3 操作(システム管理者)

本章では、システム管理者の操作方法について説明します。

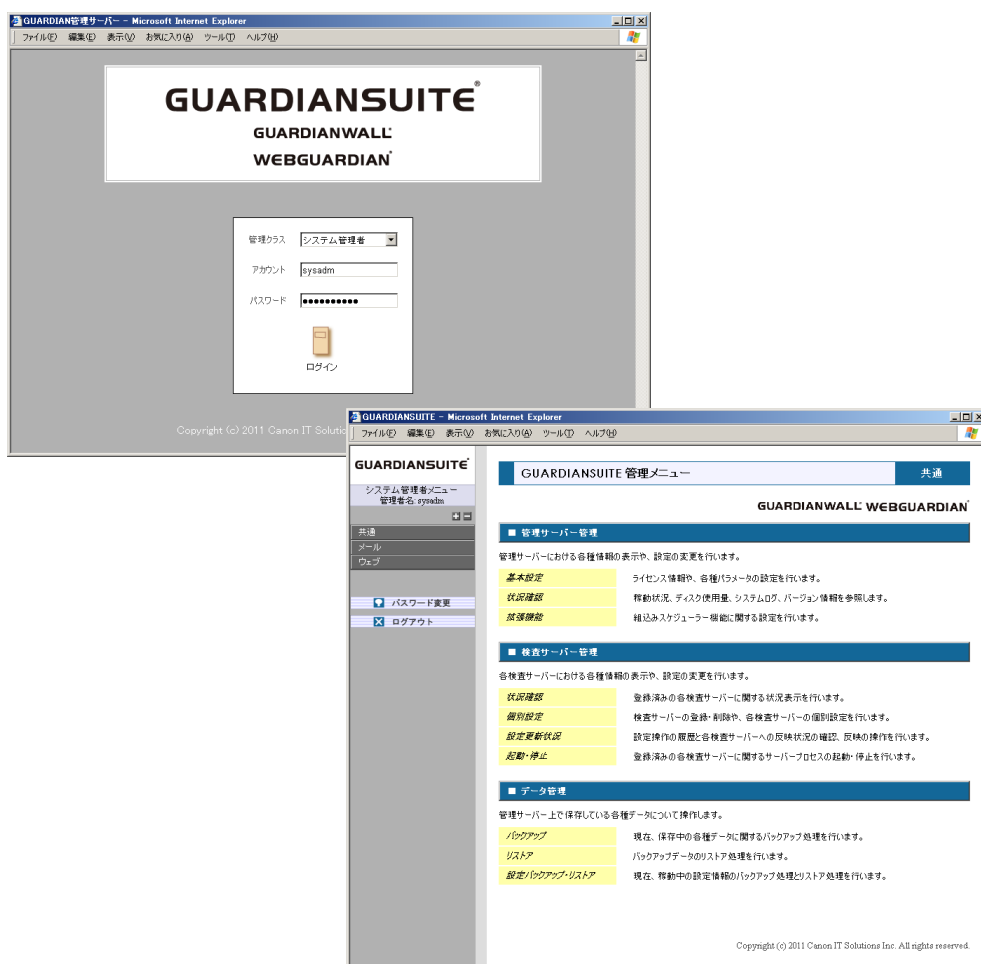
3-1 ログイン画面

管理用 URL をウェブブラウザのアドレス欄に入力してログイン画面にアクセスします。

例) `http://192.168.0.1:8080/login/`

ご使用のサーバーホストの IP アドレスを入力してください。

ログイン画面の管理クラスで「システム管理者」を選択、ユーザー ID とパスワードを入力し、[ログイン] アイコンをクリックしてログインします。ログインすると、システム管理者のトップページが表示されます。



3-2 共通メニュー

画面左部のタブメニューで、「共通」を選択するとその下に、メールとウェブ共通のメニューが表示されます。

全文検索システムを管理サーバーにインストールすると、「管理サーバー管理」以下のメニューに全文検索固有の設定項目が追加されます。

3-2-1 基本設定

画面上のタブメニュー【全文検索設定】で、全文検索システムの設定を変更することができます。

操作方法は情報管理者のものと同じです。詳細については「1-2-1 基本設定」(11ページ)をご参照ください。

3-2-2 状況確認

全文検索システムの稼動状況を確認します。

画面上のタブで、【稼動状況】【ディスク使用量】【システムログ】【バージョン情報】の4つのメニューを切り替えます。

各操作方法は情報管理者のものと同じです。詳細については「1-2-2 状況確認」(13ページ)をご参照ください。

3-2-3 拡張機能

スケジューラーとして登録された各種機能を実施するためのスケジュール設定を行います。全文検索システムが導入されていると、「全文検索インデックス」というスケジューラーが追加されます。これを設定することにより全文検索インデックスが生成されます。操作方法は情報管理者のものと同じです。詳細については「1-2-3 拡張機能」(16ページ)をご参照ください。

4 操作(利用者管理)

本章では、利用者管理方法について説明します。

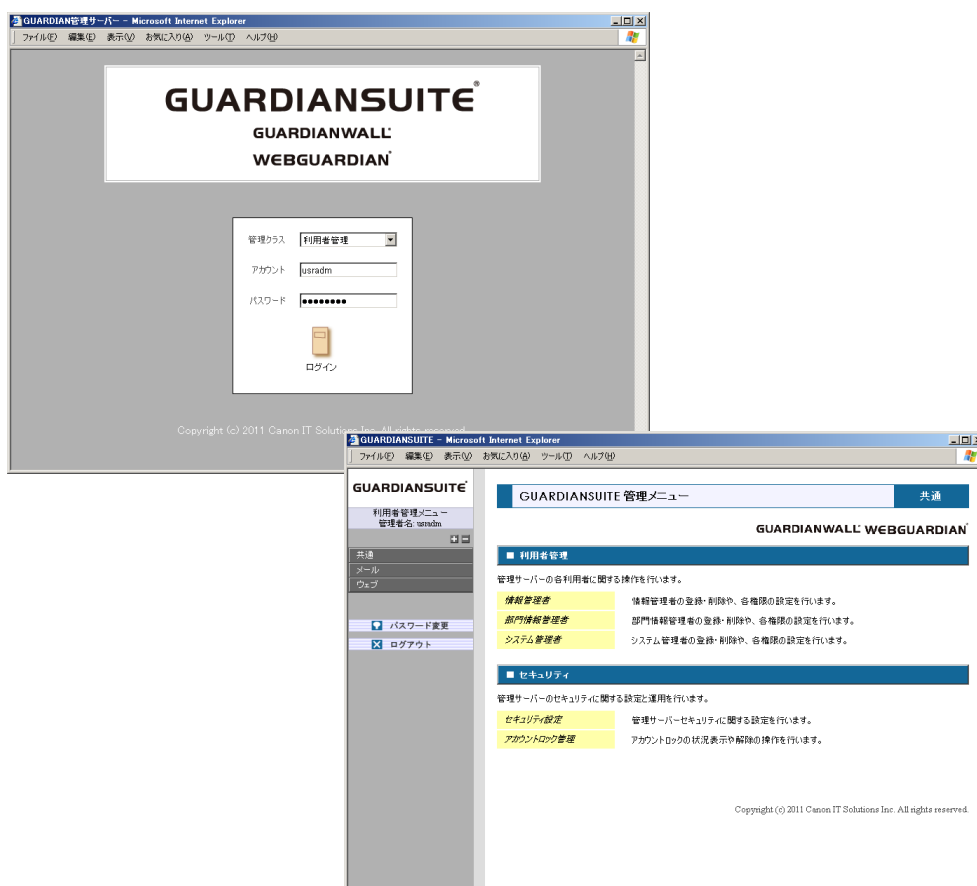
4-1 ログイン画面

管理用 URL をウェブブラウザのアドレス欄に入力してログイン画面にアクセスします。

例) `http://192.168.0.1:8080/login/`

ご使用のサーバーホストの IP アドレスを入力してください。

ログイン画面の管理クラスで「利用者管理」を選択、ユーザー ID とパスワードを入力し、[ログイン] アイコンをクリックしてログインします。ログインすると、利用者管理のトップページが表示されます。



4-2 利用者権限の設定

利用者管理画面では、各ユーザーに対する全文検索実行の権限を設定することができます。

情報管理者及び部門情報管理者が全文検索を実行するためには、各ユーザーのメールオペレーション権限が適切に設定されている必要があります。全文検索を利用するユーザーに対しては、「全文検索」を「権限有り」に設定してください。さらに、「保存メールログ閲覧」も「権限有り」にする必要があります。

また、運用形態にあわせて「保存メール本文内容閲覧」や「リストアデータ閲覧」の権限を設定してください。

	情報管理者	部門情報管理者
全文検索	有効	無効
保存メールログ閲覧	有効	無効
保存メール本文内容閲覧	無効	無効
リストアデータ閲覧	有効	無効

ユーザーの権限の設定方法については、『管理サーバー 利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～』の「6-2-1-4 情報管理者の権限リスト」(356 ページ)、「6-2-1-5 部門情報管理者の権限リスト」(368 ページ)をご参照ください。

また、全文検索の実行では、各ユーザーの検索対象として「優先除外対象グループ」「管理対象グループ」「グループ対象範囲条件」「検索条件グループ」の設定が反映されます。運用形態にあわせて、適切な条件を設定してください。

グループ管理機能の詳細については、『管理サーバー 利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～』の「3-3-1-5 グループ」(153 ページ)をご参照ください。

5 仕様

本章では、全文検索システムの日本語検査機能、設定ファイルに関する詳細仕様、サポートコマンドの使用方法について説明します。

5-1 日本語検査仕様

(1) メッセージのテキスト抽出

本全文検索システムでは、検査対象となるメールのヘッダー、メッセージボディ本文、添付ファイル名、添付アプリケーションデータ(Word、Excel 等)のテキストを抽出したものから、全文検索用のインデックスを事前に作成する必要があります。

このインデックスに対して指定されたキーワードの組合せが存在するかどうかを判定します。メールアーカイブが存在しなくても、インデックスが存在すれば検索処理は可能です。

GUARDIANWALLのテキスト抽出は、MIMEパートごとにテキストを抽出、キーワードの組合せを判定します。キーワードの論理積によっては、GUARDIANWALLの情報検査ログ結果と本全文検索では検出結果が異なる場合があります。

(2) テキスト検査可能なアプリケーションデータ

キーワード検査時にMIME形式で添付された下記アプリケーションファイルに対しては、テキスト情報を抽出してキーワード検査を行います。検査時にファイル内容の識別を行っており、ファイル名が指定されていない場合や、拡張子が通常のものとは異なっている場合でも、キーワード検査を実行します。

共通

ユーザー定義文字、機種依存文字の検査はできません。

Microsoft WORD 95, 97, 98, 2000, 2001 for Mac, 2002, 2003, 2007

図形、ページ番号は検査できません。

箇条書き段落番号は検査できません。

ルビ、ルビを振った文字の検査はできません。

パスワード設定されたドキュメントは検査できません。

Microsoft の IRM (Information Rights Management) 機能を使用し、ドキュメントへのアクセス制限を設定したファイルの検査はできません。

Microsoft Excel 95, 97, 98 for Mac, 2000, 2001 for Mac, 2002, 2003, 2007

セルの内容をテキストとして検査します。図形は検査できません。

パスワード設定されたドキュメントは検査できません。

「シートの保護」を設定したファイルは検査できますが、「ブックの保護」を設定されたファイルは検査できません。

IRM機能を使用し、ドキュメントへのアクセス制限を設定したファイルの検査はできません。

Microsoft PowerPoint 95, 97, 2000, 2001 for Mac, 2002, 2003, 2007

スライドとノートのテキストが検査対象です。

図形、スライド番号は検査できません。

パスワード設定されたドキュメントは検査できません。

IRM機能を使用し、ドキュメントへのアクセス制限を設定したファイルの検査はできません。

ジャストシステム 一太郎Ver. 5 - 13, 2004, 2005, 2006, 2007

図枠、付箋、差入枠、オブジェクト枠、レイアウト枠は検査できません。

パスワード設定されたドキュメントは検査できません。

圧縮形式で保存されたファイルは検査できません。

PDF Ver. 1.2, 1.3, 1.4, 1.5, 1.6, 1.7

Windows 版 Adobe Acrobat 3/4/5/6 内に組み込まれている Distiller, PDFWriter で出力されたもの以外の PDF ファイルでは検査できない場合があります。

「書式なしテキストのメタデータを有効にする」と指定されている場合、検査できません。

立体文字、文字の重ねで表示されている強調文字は、多重に検出したり、検出できなかったりする場合があります。

図形、グラフィックスは検査できません。

「文書を開くパスワード」が設定された PDF ファイルは検査できません。

LZW 圧縮されたテキストは検査できません。

独自のセキュリティハンドラを定義して使用している場合、検査できません。

5-2 アカウント設定ファイル

アカウント設定ファイルの詳細については、『管理サーバー利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～』の「7 システム設定」(378ページ)をご参照ください。

ここでは全文検索に関わる部分のみ記載します。

(1) 情報管理者権限設定用オプション

情報管理者の設定ファイルで使用できる権限オプションのうち、全文検索に関係するものを以下に示します。

メールオペレーション権限リスト ([Admin]セクション)

キー	初期値	意味	設定範囲
FullTextSearch	1	全文検索実行を許可する。 1 : 権限あり 0 : 権限なし	0/1
ArchiveList	True	保存メールログ一覧照会操作を許可する。 True : 権限あり False : 権限なし	True/False
ArchiveMessage	False	保存メール内容閲覧操作を許可する。	True/False
ArchiveRetrieve	True	リストアデータ閲覧(ログ一覧照会)操作を許可する。	True/False

(2) 部門情報管理者権限設定用オプション

部門情報管理者の設定ファイルで使用できる権限オプションのうち、全文検索に関係するものを以下に示します。

キー	初期値	意味	設定範囲
FullTextSearch	0	全文検索実行を許可する。 1 : 権限あり 0 : 権限なし	0/1
ArchiveList	False	保存メールログ一覧照会操作を許可する。 True : 権限あり False : 権限なし	True/False
ArchiveMessage	False	保存メール内容閲覧操作を許可する。	True/False
ArchiveRetrieve	False	リストアデータ閲覧(ログ一覧照会)操作を許可する。	True/False

IgnoreIndexingDate :年月日(YYYYMMDD)桁の数値

指定した年月日以前のメールアーカイブに対して全文検索インデックスの構築を抑制する

初期値：指定なし

IndexOptimize :0/1

全文検索インデックス最適化の指定

「0」指定時には最適化しない、「1」指定時には最適化する

最適化しない場合には、インデックス作成時間は短縮されるがファイルサイズが増大する。

また、検索時間も増大する。

初期値：1（最適化する）

暗号メール検出拡張機能

[CGI] セクション

Search_guess_cypher :0/1

暗号メールを推測し、検出する機能

「1」指定時には暗号メール検出機能が使用できる。

初期値：0（使用しない）

キーワード

☐ 暗号メールの検出だけ行う(※ キーワードの検索は行えません。)

RFC規約に従った PGP、S/MIME メールを推測、検出します。それ以外の暗号、独自形式のものなどは検出できません。

暗号メールであることを検出するものであり、暗号の複合、解読は行えません。

5-4 インデックス作成コマンド

全文検索インデックス作成コマンドmw_makesrchindex.plを実行することで、スケジューラ以外でも全文検索インデックスの作成が可能です。

コマンドはroot アカウントにて実行してください。

(1) 使用方法

Usage : mw_makesrchindex.pl [options] [YYYYMMDD [YYYYMMDD]]

オプション

- help : ヘルプメッセージを表示する
- all : 全てのメールアーカイブを対象とする
- overwrite : インデックスを再作成する
- restoredir [dir] : リストアディレクトリ「dir」のメールアーカイブからインデックスを作成する
- optimize_index : 最適化されていない既存インデックスを最適化する

例1) 2006年8月1日のインデックスを作成する

```
# ./mw_makesrchindex.pl 20060801
```

例2) 2006年8月1日から2007年1月15日までのインデックスを作成する

```
# ./mw_makesrchindex.pl 20060801 20070115
```

例3) 保存されている全てのメールアーカイブのインデックスを作成する

```
# ./mw_makesrchindex.pl -all
```

例4) リストアディレクトリ /restore1 にある全ての、リストア済のメールアーカイブのインデックスを作成する

```
# ./mw_makesrchindex.pl -restoredir /restore1 -all
```

例5) 最適化されていない既存のインデックスを最適化する。

期間 : 2006/10/01 - 2007/03/31

```
# ./mw_makesrchindex.pl -optimize_index 20061001 20070331
```

(2) コマンド格納先

/opt/Guardian/Admin/search/bin/

5-5 検索履歴削除コマンド

検索履歴削除コマンド `guts_purge_history.php` を実行することで、指定したアカウントの検索履歴を全て削除することが可能です。

コマンドは root アカウントにて実行してください。

(1) 使用方法

Usage : `guts_purge_history.php -l level -u uid [オプション]`

オプション

<code>-h</code>	: ヘルプメッセージを表示する
<code>-l [level]</code>	: 管理クラスを指定する。 情報管理者 <code>admin</code> 部門情報管理者 <code>manager</code>
<code>-u [uid]</code>	: アカウント名を指定する

例 1) 情報管理者の `yamada` アカウントの検索履歴を削除する

```
# ./guts_purge_history.php -l admin -u yamada
```

例 2) 部門情報管理者の `tanaka` アカウントの検索履歴を削除する

```
# ./guts_purge_history.php -l manager -u tanaka
```

(2) コマンド格納先

`/opt/Guardian/Admin/search/bin`